

京都労働者学園

題字は京都労働学校初代校長、故住谷悦治先生の筆です。

ラボール学園
(社団法人京都労働者学園)

京都市中京区壬生仙念町30の2
ラボール京都 3階
電話 075(801)5925 FAX 075(812)1508
ホームページ <http://www.labor.or.jp/gakuen/>
e-mail [gakuen @ labor.or.jp](mailto:gakuen@labor.or.jp)
フェイスブック <https://www.facebook.com/kyoto.labor.gakuen/>
ツイッター @LaborGakuen

編集・発行 責任者 田中行夫
2013. 1. 1 発行

あけまして
おめでとうございます

本年もよろしくお願ひいたします



長寿梅（樹高15cm）3月講座花材
(6ページに教室の紹介掲載)
府市民教室・暮らしに癒しを！ 小品盆栽教室 桧見朋広先生の作品

役職員一同

学園長	寺井 基博(同志社大)
事務理事	田中 行夫
理事	小畠 史子(京都大)
監事	吉田 雅人(々)
監事	西村 健一郎(同志社大)
監事	杉山 真喜夫(立命館大)
監事	齊藤 雅人(々)
監事	脇田 滋(龍谷大)
監事	原 健二(連合京都)
監事	井上 信治(々)
監事	松本 隆浩(々)
監事	福田 良幸(京都府)
監事	石田 信幸(京都府)
監事	木村 守(税理士)
顧問	佐々木 真成(京都総評)
顧問	篠原 輝雄(々)
顧問	吉岡 崇(連合京都)
顧問	山縣 哲也(京都総評)
顧問	門川 啓二(京都府知事)
顧問	山田 大作(京都府市長)
職員	千田 忠男(同志社大学名誉教授)
職員	西井 幸男(同志社大学名誉教授)
職員	三村 義夫(元専務理事)
職員	正弘(京都大学名誉教授)
職員	二場 邦彦(立命館大学名誉教授)
職員	菊池 光造(京都大学名誉教授)
職員	河原田 真弓(元JAM京都委員長)
職員	半田 敏照(元JAAM京都委員長)
職員	船越 上喜(元JAAM京都委員長)
職員	真優子(元JAAM京都委員長)

P 1～P 3 年頭の挨拶

P 4 京都府労働施策紹介④

P 5 2012年秋公開セミナー実施報告・新公益法人制度検討委員会報告他

P 6 府市民教室・有志によるグループ展他とお知らせ

年頭の挨拶

学園長

寺井 基博
(同志社大学)



新年明けまして おめでとうございます

京都勤労者学園は、本年で創立五十六年を迎えることになります。一九五七年の創設以来定款に掲げられた「勤労者の教養と自覚を高めその地位の向上を図ること」を目的として、労働組合と大学関係者、そして京都市という性格の異なる三つの団体が熱意と知恵をもち寄つて勤労者教育事業に邁進してきました。さらに熱意にあふれた

講師の先生方、仕事を終えて新たな知識や技能の修得をめざす勤労者の方々の存在が、本学園の歴史を支えてきたのだと思います。こうした事業体は国内において稀有な存在であり、「官」「私」でもない「公」の概念を体现した運営形態であって、京都が誇るべき財産であるといえます。

新公益法人化につきましては、事業区分を精査して二〇一一年

京都市の委託事業で夜間に開講される「京都労働学校」と京都市の協力を得て労働組合や一般の方を対象とした無料の「公開セミナー」、昼間の「府市民教室文化教養講座」を中心としながら、パソコン教室、英会話教室、労働講座、講師の斡旋等の事業を行ってきました。近年では「求職者支援

勤労者の職場に目を向けると、パソコンが「普通の仕事道具」になり、企業活動の国際化が急速に広まる中、日常の電話のやりとりでも英語や中国語、韓国語が必要となることも少なくありません。商売の基本は「読み書き・そろばん」と言い慣わされましたが、今日では、「読み

本年も皆様の多大なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

方で、痛ましい交通事故の発生や南部地域での豪雨被害、停滞する経済と厳しい雇用環境、生活保護受給世帯の増加、原子力発電所の安全性をめぐる問題や節電対策など、多くの課題が生じた年でもありました。

昨年の衆議院議員選挙では、エネルギー問題、消費税増税問

八月に京都府に公益認定を申請しましたが、いまは結果が判明するのを待っている状況です。これまで、進学率の上昇や労働環境の変化に伴い、教育内容や講座編成、事業活動などに少しずつ変更や修正が加えられてきましたが、公益認定に向けて課題を一つひとつ検討する作業を通して、学園の目的を堅持しつつ利用者のニーズに的確に対応することの大切さをあらためて確認することができました。

本学園の具体的な事業として、京都市の委託事業で夜間に開講される「京都労働学校」と京都市の協力を得て労働組合や一般の方を対象とした無料の「公開セミナー」、昼間の「府市民教室文化教養講座」を中心としながら、パソコン教室、英会話教室、労働講座、講師の斡旋等の事業を行ってきました。近年では「求職者支援

「書き・話す」は英語や中国語、韓国語に及び、「そろばん」と「書き」はパソコンに置き換えています。しかし、こうした基礎的スキルの修得は、企業内の訓練よりも自己啓発に委ねられることが多いようです。自己啓発によってさまざまな基礎能力を修得することが一般的な日本において、勤労者の自己啓発の下支えとなることが本学園の役割であると確信します。

今節、長期雇用を基本としてきた多くの企業が大量の退職希望者を募る等の報道に接し、日本の企業は一大転換期を迎えた感がいたします。日本や世界が少しでも希望のもてる方向に進んで行くことを心より願い、新年のご挨拶といたします。

また、この年で京都勤労者学園

年頭の挨拶

京都府知事

山田 啓二



府民の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、ロンドンオリンピックでの京都府ゆかりの選手の活躍や、京都大学・山中伸弥教授のノーベル賞受賞など、府民に

とつて大変誇らしい出来事の一つでした。その一

京都の持つ「力」を生かし、 「オール京都」で明日を切り拓こう

去年は、ロンドンオリンピックでの京都府ゆかりの選手の活躍や、京都大学・山中伸弥教授のノーベル賞受賞など、府民に

とつて大変誇らしい出来事の一つでした。その一

題、 TPP交渉参加問題などを

ていかなければなりません。

野に及んでいます。

巡つて國論が一つに割れ、また領土問題など「対立」が目立つ

その年でもありました。だからこそ、今年は「和をもつて貴しと
なす」、この言葉を実践する年に
したいと思います。困難な課題
が多く、難しい判断が求められ
ますが、巳年となる今年は、蛇
行することはあっても、着実に
前に進んで行きたいものです。
そのため、私どもはこれまで
以上に「熟議」し、その上で
「判断」し、みんなが心を合わ
せ、困難に向かって「行動」し

幸い、京都には、さまざまなお機関や団体、そして府民の皆様が連携し、協力して大きな力を發揮するという「オール京都」の風土があります。この「オール京都」による取り組みは、昨年も「古典の日」の法律制定や「和食」の世界無形文化遺産登録に向けた活動、「京都産業育成コンソーシアム」による中小企業支援、高齢の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするための「京都式地域包摺ケア」など、すでに多くの分

また、地域に暮らす皆様が協働して地域づくりに取り組む「地域力再生プロジェクト」は、この六年間で三千件を上回り、身近な道路などの改善を府民の皆様の提案により行う「府民公募型安心・安全整備事業」は、この四年間で四千五百件にも上るなど、府民の皆様の協力によって地域を豊かにする取り組みが進められました。

府民の皆様お一人お一人が、夢と希望を抱き、生きがいを持つて暮らせるような京都をつ

取り組みを、府政運営の三つの基本方向である「府民安心の再構築」、「共生社会の実現」、「京都力の發揮」にそつて活かしていくことが必要です。

で、府民の皆様の力をさらに結集できる条件が整ってきます。日本全体が大きな構造変化に直面し、未来への道筋を見いだせない今、京都の持つ「力」を存分に發揮するためにも、今年の合い言葉は「オール京都」でいきませんか。

年頭の挨拶

京都市長

門川大作



好機の兆しをつかみ、
果敢に挑戦し、躍進する
一年に

新年おめでとうございます。

祈り申し上げます。

皆様にとって、この一年が喜びの多い年になりますことをお

市長に就任して五度目のお正月を迎えることになりました。

かし、まだまだ課題山積です。

と書くように、厳しさの中で良い予兆、兆しが見えて、見ているだけでは、「眺める」だけで終わります。手でその兆しをつかみにいってこそ、「挑む」という字になります。そして、兆しをつかんで、足で走り回ってこ

勇気を持って果敢に挑戦し、京都が未来に大きく躍進する礎を築くため、引き続き皆様と共に全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願ひいたします。

この間、厳しい社会経済状況の中、職員一丸となつて行財政改革を進めてきました。市長就

ていく!と、新年に当たり、決意を新たにしています。

そ、未来に向かって大きく「跳ねる」ことができます。

この間、厳しい社会経済状況の中、職員一丸となつて行政改革を進めてきました。市長就任時には一万六千人余りであつた市職員数を一万三千七百人にまで削減するなど、あらゆる努力を重ね、ようやく最大三七三億円の歳入歳出予算を実現することができました。

意を新たにしています。
私が一貫して大切にしている
行動指針、それは、「迷ったとき
はより困難な方の道を選ぶ」こ
とです。人にも、まちにも何度も
かチャンスがあります。それには

そ、未来に向かって大きく「跳ねる」ことができます。

昨年、本市では、市民の皆様と夢や理想を共有した本市の基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」の実施計画を策定し、すでにこれまで、特に重要な事業で

くつていくためには、こうした

奈良線の環境整備を進めるこ

京都府労働施策紹介④

京都中小企業労働相談所をご利用ください

京都府では、労使関係のトラブルについて労使双方からの相談に応じるために、「京都中小企業労働相談所」を設置し、専門の相談員がアドバイスを行つています。

中小企業労働相談所は昭和三十一年に設置され、現在は、京都テルサ西館三階の「京都中小企業労働相談所」で府民の皆さまからの「働くこと」に関する様々な相談に応じています。

労働相談の件数

相談の種類	平成23年度の件数
一般の相談（月～金）	1,457
非正規労働ほっとライン（土）	272
小計	1,729
特別労働相談（弁護士による相談）	60
働く人のメンタルヘルス相談（産業カウンセラーによる相談）	23
合計	1,812

方は、京都中小企業労働相談所までお申し込みください。

また、産業カウンセラーによるメンタルヘルス相談を毎月第二水曜日に実施しています。職場環境や人間関係などに「しみどさ」を感じている方の問題を、産業カウンセラーと一緒に考えます。

いずれも事前予約が必要です。力はありませんが、経験と専門知識を持つた相談員が相談をお受けします。また、必要に応じて、京都府労働委員会や労働基準監督署、ハローワークなどの関係機関を紹介します。相談の秘密は厳守します。

社会保険労務士による「非正規労働ほっとライン」

パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など、「正社員」以外の働き方をする場合は、会社との雇用契約や社会保険の加入などが、正社員に比べ複雑になる傾向があります。そのような問題に対応するため、平成二十一年四月から社会保険労務士による「非正規労働ほっとライン」を毎週土曜日（祝日除く）に実施し、電話と来所の相談に応じています。

相談内容は、労働条件に関する相談が六四・三%を占め、その内訳を見ると、「賃金」に関する相談が一番多く、次いで「労働時間・休日」、「退職・退職金」、「解雇・退職勧奨」の順になります。平成二十三年度の傾向の特徴としては、「退職・退職金」に関する相談が、前年度に比べ七〇%増加していることが

あげられます。
平成二十四年度（四月～十一月）の相談件数は一、四五五件で、前年度同期のほぼ三割増の件数です。

【特別労働相談】や
【メンタルヘルス相談】
を実施しています

複雑な相談に対応するため、労働問題に詳しい弁護士による相談を、毎月第三木曜日に実施

あきらめずに、すぐに、
ご相談ください

受け付けています
《使用者からの相談も》

京都中小企業労働相談所では、使用者、経営者、総務担当者の相談もお受けします。

労働関係の法律が頻繁に改正され、労働問題も多様化しています。問題がこじれてしまう前に誠意を持って対処すれば、労使の信頼関係を築くことにもつながります。

どんなことでも、お気軽にご相談ください。
相談はいすれも無料です。

り、労働条件などで疑問を感じた場合は、すぐにご相談ください。

京都中小企業労働相談所

京都市南区新町通九条下ル
京都テルサ西館3階
(京都市バス九条車庫の南側)
電話 075-661-3253 FAX 075-692-3452

相談日 月～土曜日
(日、祝日、12/29～1/3を除く)
相談時間 午前9時～午後1時、
午後2時～午後5時

フリーダイヤル 0120-786-604
(京都府内限定)

- ◎弁護士による労働相談 每月第3木曜日（事前予約制）
- ◎産業カウンセラーによるメンタルヘルス相談 毎月第2水曜日（事前予約制）
- ◎社会保険労務士による非正規労働ほっとライン 每週土曜日（予約不要）

相談はいすれも無料です。

2012年秋の公開セミナー実施報告

2012年9月27日(木) 午後6時30分~8時30分 講師：武田 由利子さん（産業カウンセラー）



今回の公開セミナーではなく、一回開催で、講義だけでなく演習を取り入れた新しい形にチャレンジしてみました。職場でメンタルの問題を抱える方も多い昨今、社会問題として注目が集まるテーマだけに百名を超える多くの参加応募を頂き、当日は七十八名の方にご参加頂きました。

学園では、今後もこれまでの連続・講義形式のセミナーを継続しつつ、今回のように勤労者の方に楽しく労働問題や社会問題を学んでいただける企画も考案していく予定です。ご注目ください。

「仕事・生活のストレスをパワーに変える魔法の法則～ストレスとうまくつきあうセルフケア実習～」

講師の武田先生によるストレスの基本知識や、傾聴のポイントなどの講義を聴きながら、参加者は後ろの座席の方とペアになって、普段のストレス対策や、これまでの経験について話し、ストレスをパワーに変える方法を実践的に学びました。最初は初対面の方と話すことへの緊張が感じられましたが、武田先生の明るい声かけに応じて、次第にリラックスして話せるようになると、お互いに笑顔が多くなり、熱気が会場に広がっていました。

京都労働学校・府市民教室

実用ペン字教室検定結果報告

昨年十一月十一日に(日)に実施された平成二十四年度第二回硬筆・毛筆書写検定試験において、京都労働学校及び府市民教室文化教養講座で開講しているすべての講座について、公益性の有無について点検を行い、勤労者が受講することによってスキルが得られることが認められました。

京都労働学校及び府市民教室文化教養講座で開講しているすべての講座について、公益性の有無について点検を行い、勤労者が受講することによってスキルが得られることが認められました。

新公益法人制度検討委員会報告

これまでご報告しているように昨年2月1日の府の「審議会」で初めて審議され、結果は、継続審議となりました。

それ以降、審議会での意見などに従って、学園の事業についての「公益性」を「審議会」に十分に理解をしていただくことや事業区分についても「公益目的事業のみ」では認められることが難しく、事業区分の根本的な見直し作業をしてまいりました。

京都労働学校及び府市民教室文化教養講座で開講しているすべての講座について、公益性の有無について点検を行い、勤労者が受講することによってスキルが得られることが認められました。

アップが図れること及び就労の維持や求職に結びつくことなど、勤労者の就労の支援に資することになるなど、公益性が認められるかどうかの視点で区分けをいたしました。

このことにより、変更申請では、当初の「公益目的事業のみ」から2つの公益目的事業（「講座・セミナー」と「調査・資料収集と情報提供」）及び1つの収益事業（「講座・セミナー」）に分けて、昨年の11月末に申請を改めていました。

このため、「審議会」の審議待ちの状況です。

求職者支援訓練事業

事務職で就職を目指す「簿記・経理・総務オフィス実務科」
十八名で訓練スタート

一十三名の申込み！
二十一名の定員に

九月に認定が下り、十月二十四日から募集が始まり十一月十三日に締め切った求職者支援訓練の「簿記・経理・総務オフィス実務科」コースは二十名の定員のところに、二十三名の申込みがありました。

前回は、定員二十名のところ十一名の申込みしかなく、それでも訓練を実施しましたが、今回も、募集期間最終日前日まで、十二名の申込みしかもなく、今回も定員割れでの訓練を実施しましたが、今回も、募集期間最終日前日まで、十二名の申込みになつて十一名の申込みがあり、最終的に二十三名となり、選考を実施することになりました。

定員二十名で選考したところ、訓練開始前になつて二名の方が、一名の方は就職活動に専念することを理由に、また、もう一人の方は就職が決まり辞退され、最終的に十八名での訓練開始となりました。

訓練は、十二月十日からスタートし、今年の三月二十一日までの三ヶ月と十二日間の訓練となります。

府市民教室・有志によるグループ展他とお知らせ

団体園員の皆さんへ

・・・出張講座をご利用ください・・・

学園では、労働者の学習機会を拡大するため、労働組合等と協力して出張講座を行っています。年1回、団体園員の実施される講座に本学園も参画し、実施経費として3万円を負担いたします。

また、講座の企画、講師の斡旋なども行っていますのでご相談ください。申込みは学園HPからダウンロードできます。

学びの環境改善

本学園では少しずつ学びの環境改善を行っています。今回は第2教室に天井吊り下げ型のプロジェクターを設置するとともに、スピーカーを取り付け音響設備を充実させました。



今後も受講者の皆様により良い環境で受講いただけるよう改善してまいります。

2013年1月～3月の予定

12月29日～1月6日 年末年始の休業

- 1月7日 仕事始め
- 1月9日 パソコン教室 2月生受付開始 10時～
- 2月4日 パソコン教室 3月生受付開始 10時～
- 府市民教室 12年度第4期受付開始 10時～
- 2月27日 労働教育セミナー① 18時半～
- 3月1日 労働教育セミナー② 18時半～
- 3月4日 京都労働学校・市民英会話教室春期生受付開始
- 3月中旬 京都労働学校 2012年度秋期修了式
- 3月中 公開セミナー

おしらせ

勤労者学園事務局は、12月25日(火)～28日(金)の期間中、受付を9時～17時とさせていただきます。

なお、12月29日(土)から1月6日(日)まで年末年始の休暇、1月7日(月)から平常通りの業務となります。



俳画教室の有志による第十三回いづみ会が、京都府立文化芸術会館三階で開催されました。当学苑の講師兼田幸苑先生の指導のもと、受講生のみなさんの力作が、百六十人余りの来場者が会場をぎわしていました。

第十三回いづみ会

■ラボール学園専用駐輪場が設けられました■

2012年6月より、ラボール京都の北側駐車場に、学園受講生専用の駐輪場が整備されました！

御利用の際は、学園窓口で登録用紙を受け取り、自転車・原付にシールを貼付の上、詰めて駐輪をお願いします。

受講生・来園者の皆様 ぜひご活用ください

受講生及び来園者の皆様に、京都市勤労者ホームページをはじめ勤労者関連情報や福祉情報を、求職中の方には求人情報を検索していただけるようロビーに専用のパソコンを2台設置しました。ぜひご利用ください。

府市民教室紹介 (2月4日(月)から受付開始)

■1回体験教室■

暮らしに癒しを 小品盆栽教室 手のひらの上に凝縮された自然

(今回の教材とテーマ：長寿梅)

講師：公益社団法人全日本小品盆栽協会 植見 朋広

初心者の方を対象とした小品盆栽教室です。洋室にも和室にも合う手のひらの上に凝縮された自然の姿をつくってみませんか。

今回は早春の芽出し前に赤い小さな花を咲かせる草ボケの変種である「長寿梅」を使って、盆栽の楽しさを体験していただきます。暮らしの中で緑のもたらす癒しをお楽しみください。作る楽しみ、育てる楽しみ、是非一緒に楽しみながら学んでいきましょう。

受講日：3月28日（木曜日）

時 間：午後1時30分～3時30分

受講料：1,200円

材料費：2,000円(受講当日ご持参ください)。

持ち物：植木ばさみとピンセット

筆記用具・ビニールシート

作品を持ち帰るためのビニール袋

作業前



作業後

